

10/21(月) 明治神宮にて「抜き穂祭」に参加しました。

校長先生にも褒められましたが、担任も3年生の成長を感じた一日でした。御田植祭から5ヶ月間。その間、NPO 響さんが稲の状況を発信していたので、子供達に伝えていました。今年は異常気象と台風により、米のつきが悪く不作という事態。この事態を受け止め、環境問題を考えるきっかけになると思い、事前課題を出しました。



すっかり秋へと変わった明治神宮をグリーンウォークした後、厳粛な雰囲気の中で、抜き穂祭が始まりました。玉串の代表も他の子供達も場に合った態度で参加することができ、立派でした。



事前課題をやってきた子供の中から、代表で発表しました。「当たり前にお米ができるとは思ってはいけない。感謝の気持ちでお米を頂く。木を増やしていこう。ゴミを減らしていこう。」



稲刈りの様子です。かまの使い方に気を付けながら刈りました。保護者のご協力のお陰でケガなくできました。

どんぐり拾いも行いました。シラカシなど種類ごとに分類しました。カマキリやイナゴなどの虫にも夢中になる子供達でした。



持ち帰ったどんぐりの苗木は、NPO 響「アースデイ命の森・どんぐり里親」プロジェクトです。1～3年間自分でどんぐりの苗木を育て、響に返却し、全国へ緑を届ける活動です。もちろんそのまま自分で育てても構いません。詳しくは、響のHPをご覧ください。



最後に、NPO 響の松尾さんと井梅さんから環境のお話をして頂きました。着々と進んでいる地球温暖化に向けて、私達にできることは何なのか。子供達は真剣に聞いていました。「2100年未来の天気予報(夏)・(冬)」YouTubeで観るよう子供達に伝えました。振り返りより→どんぐりの木を大きくなるまで大切に育てたい。ニューヨークの学校でも、同じことを学んだ。海のプラゴミを減らしたい。